様式３

第19回　全国街路事業コンクール応募資料

平成19年2月

応募者名：宮崎県　宮崎市　都市整備部　市街地整備課

事業の名称：宮崎広域都市計画道路事業

和知川原通線外１線

実施都市名：宮崎県　宮崎市

事　業　の　目　的

都市計画道路和知川原通線は、大淀川に架かる天満橋右岸から北上し、市道下北方通線を結ぶ幹線街路である。

本事業はこのうち、市道恵美須通線から国道10号までの区間を2工区として整備するものである。

また、既に1工区として県道宮崎須木線から市道恵美須通線までを事業完了しており、平成17年度に県事業である天満橋及び本事業を完了することにより、本市の市街地内における慢性的な交通渋滞が緩和され、中心市街地へのアクセス向上や快適な道路空間の創出を図る。

事　業　概　要　（1）

事　業　名：宮崎広域都市計画道路事業
和知川原通線街路事業

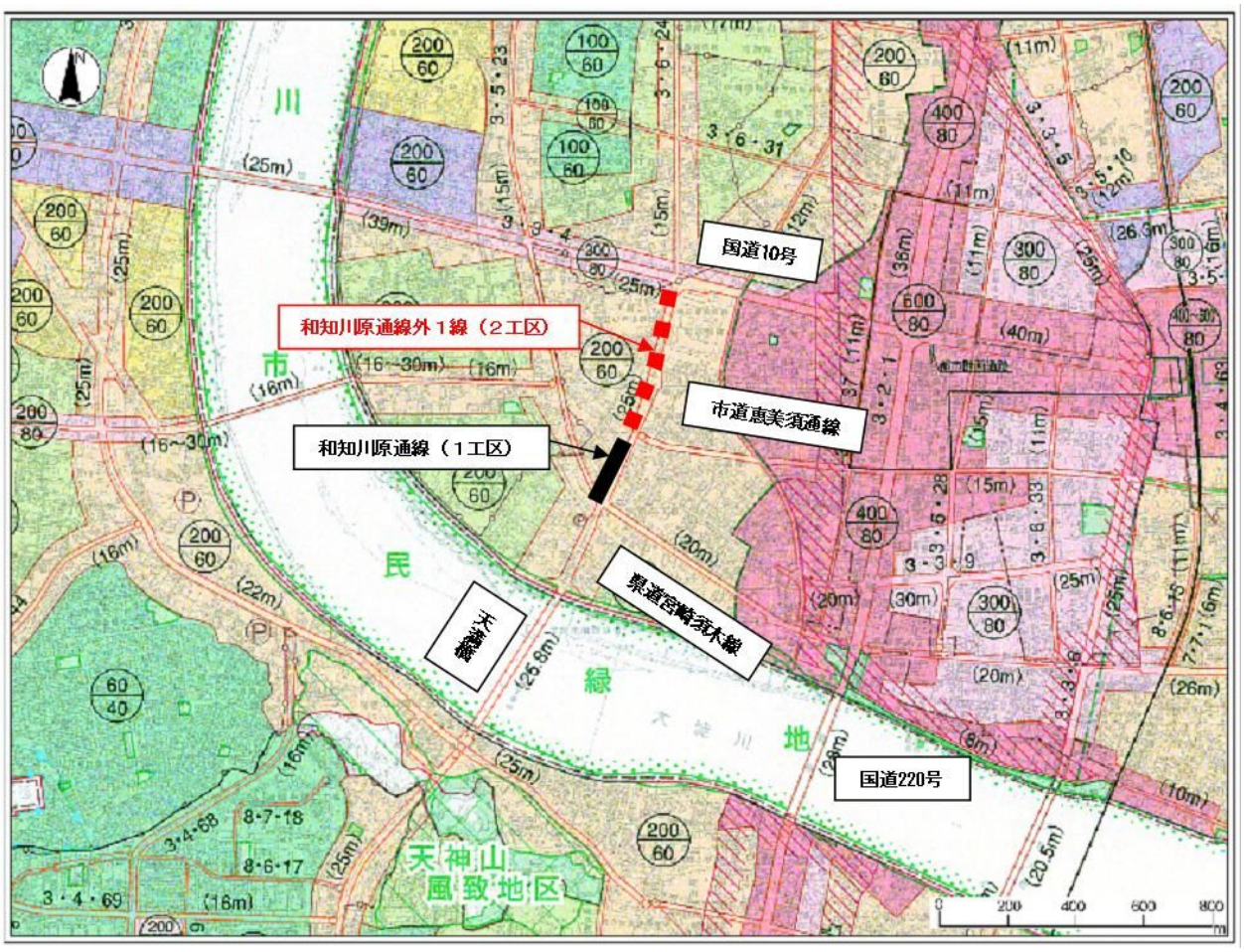
路　線　名：和知川原通線外１線
事業箇所：宮崎市南高松町～宮崎市北高松町
事業延長：３８９ｍ
幅　　員：２５ｍ（４車線）
総事業費：約５２．６億円
事業期間：平成９年度～平成１７年度

事　業　概　要　（2）

本事業は、市道恵美須通線から国道１０号を結ぶ３８９ｍを和知川原通線外１線（２工区）として整備したものである。

車道部を排水性舗装にすることで、車両走行時による隣接家屋への騒音の低下や雨天走行時の路面の視認性を向上させる。また、両側に歩道を設置し、透水性カラー平板ブロック及び植栽帯を設置することにより、歩行者の安全性を確保し、雨天時の歩行者の跳ね上がりを防止し、緑化による景観の向上を行っている。

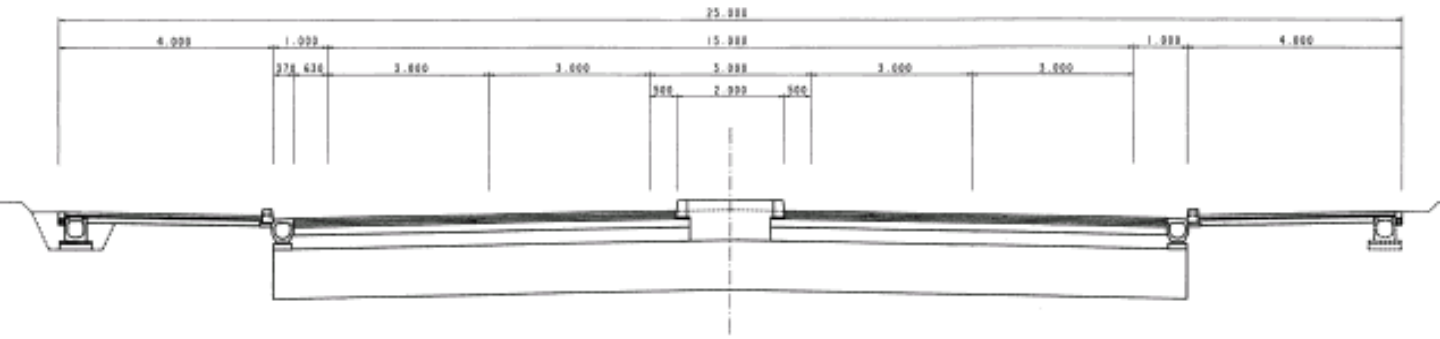
事 業 位 置 図



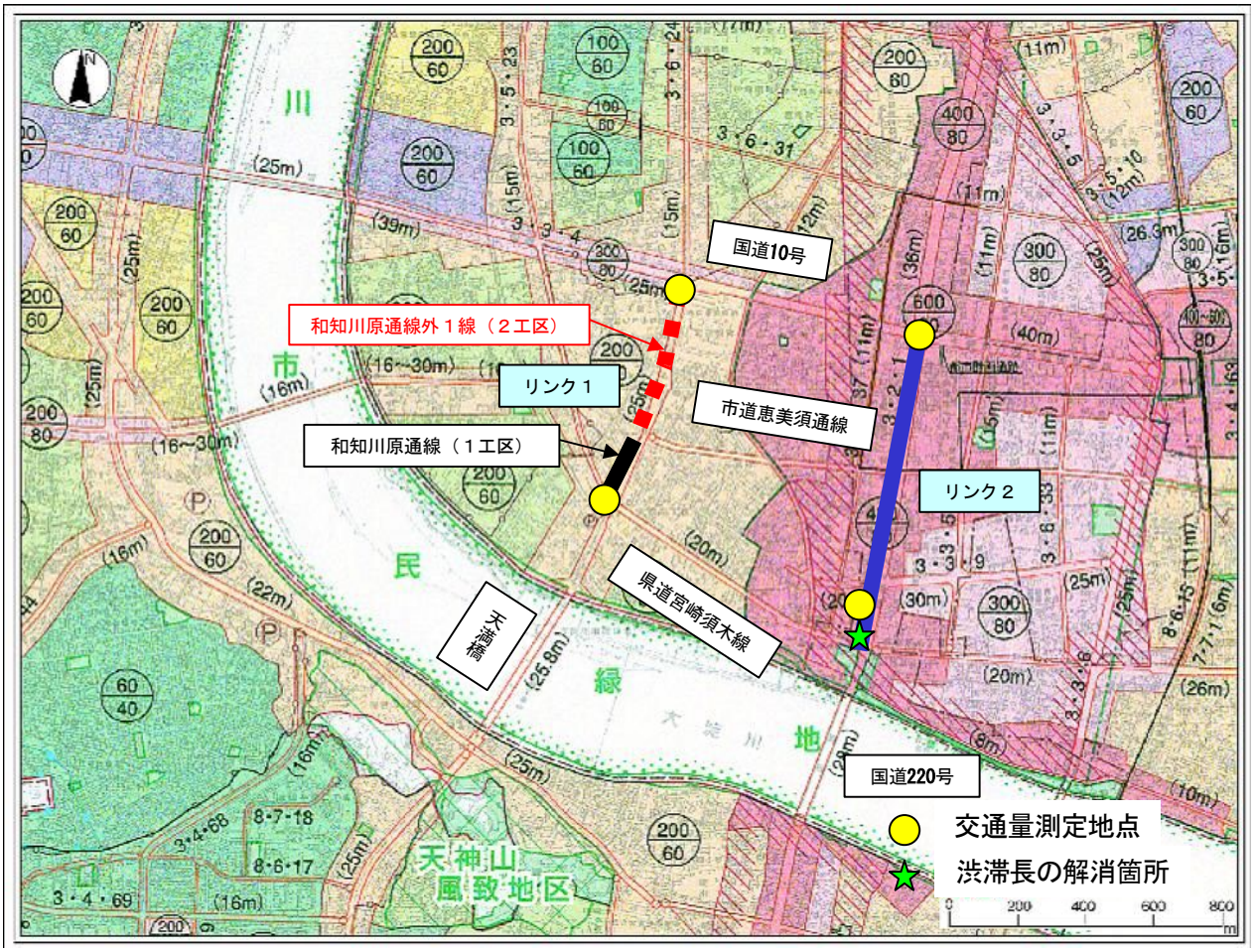
全体図（平面図・横断図）

平面図

横断図



和知川原通線の整備効果アピール資料



○事業概要
事　業　名：宮崎広域都市計画道路事業
路　線　名：和知川原通線外1線
事業箇所：宮崎市南高松町
　　～宮崎市北高松町
事業延長：389m
幅　　員：25m（4車線）
総事業費：約52．6億円
事業期間：H9～H17年度

○交通量調査結果
供用前　平成18年　3月　8日
供用後　平成18年11月28日
リンク1）
　交通量　　－　→13,503台
　　3,012台→12,925台
　旅行速度　　－　→2.1分
リンク2）
　交通量　35,439台→26,525台
　　31,391台→29,274台
　旅行速度　3.0分→2.7分

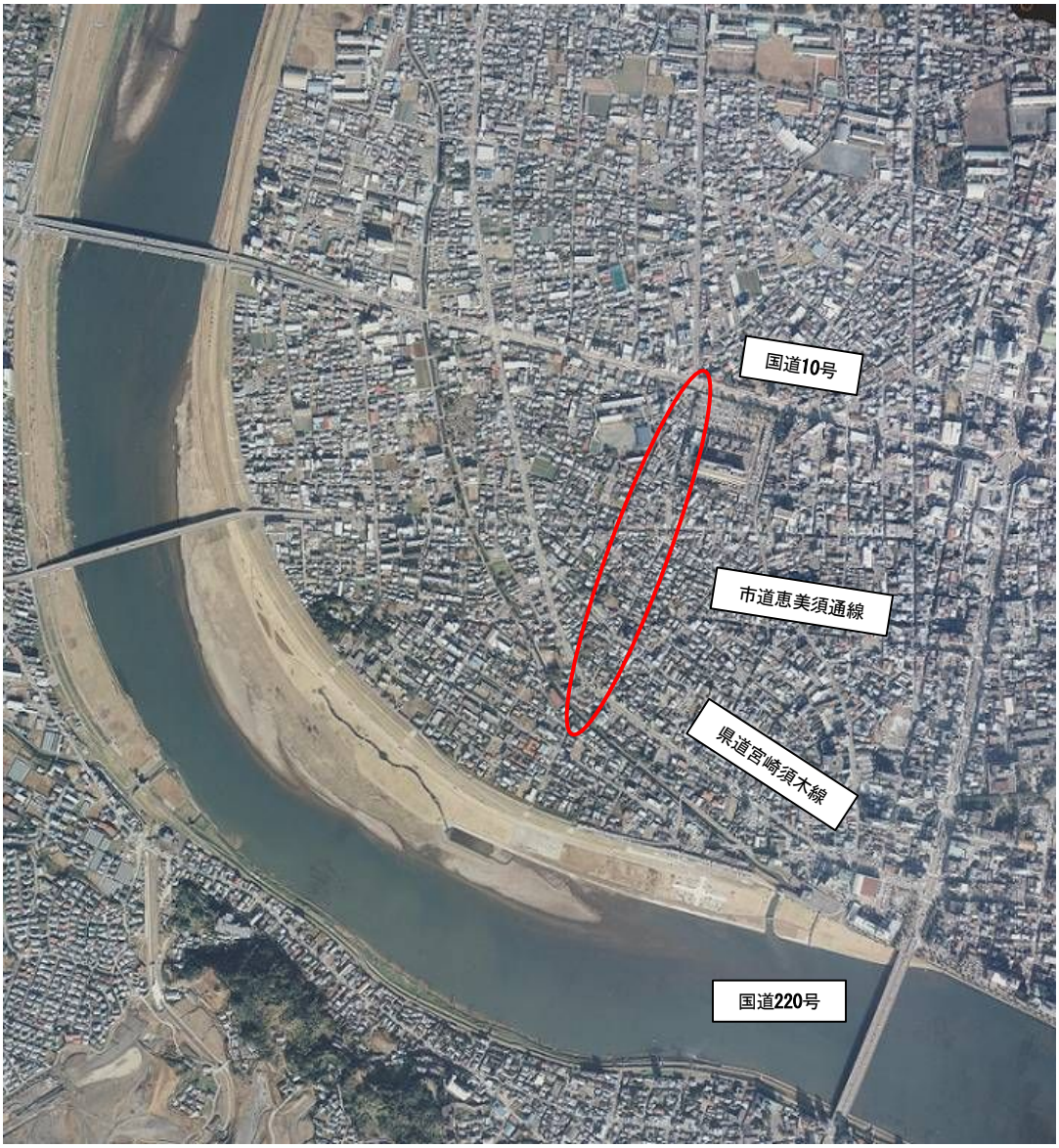
「整備効果」
○中心市街地へのアクセス道路の
　交通容量増加
○国道220号の交通量が約7%減少
○旅行速度の向上
　国道220号　3．0分⇒2．7分
○夕方ピーク時最大渋滞長740m⇒500m
○地域を二分することにより、木造建築物
　の延焼防止を少なくとも35%縮小

事業中：H17.6

事業後：H18.3

事　業　前　写　真

平成3年12月撮影



平成17年6月撮影

平成18年1月撮影

事 業 後 写 真

平成19年2月撮影

平成19年2月撮影

平成19年2月撮影